

「健康生きがいつくりアドバイザー」は、 今、社会に切望されています

一般財団法人 健康・生きがい開発財団 理事長
東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員

辻 哲夫

生きがいつくりを手助けする 人材養成のために、財団を設立

健康・生きがい開発財団は1991年に設立、その背景には老人福祉のあり方の問題がありました。

1998年当時、私は厚生省社会局で老人福祉課長の職にあり、当時の事務次官の吉原健二氏から「これからの高齢者には健康と同時に生きがいも大事だ」と言われ、それを念頭に、さまざまな施策を展開しました。そして、「生きがいつくりを手助けする人材養成」の役割を担うために、当財団が設立されたのです。

「仲間をつくり、仲間とともに生きがいをもって社会の中でなんらかの役割を果たし、その結果として健康で生きがいがあるまちづくりに貢献する」。このような活動を支援する人材こそが、「健康生きがいつくりアドバイザー」なのです。

つじ てつお 1947年兵庫県生まれ。

東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入省。厚生省老人福祉課長時代に健康・生きがい開発財団の設立準備の段階から関与。その後、厚生省大臣官房審議官、厚生労働事務次官等を歴任し、2007年退官。2009年4月東京大学高齢社会総合研究機構教授に就任し、2020年4月より客員研究員。厚生省在任時以来、高齢者が健康で生きがいを持てる社会づくりに力を尽くしている。

日本の未来のために

現在、多くのアドバイザーが全国で育っています。各地で協議会組織をつくり、住民の健康生きがいつくりのための活発な活動を展開しており、今後の活躍が期待されています。

アドバイザーには、これからの超高齢社会を明るく希望あるものにする力があります。リタイア後、人生の二幕目を充実させるために、ぜひこの資格を取っていただきたいと思ひますし、資格をお持ちの方はご自身の人間力を生かして地域でもうひと働きしていただくことを期待しています。

日本の未来のために、ぜひ一緒に頑張りましょう。



健康・生きがい開発財団について

名称：一般財団法人 健康・生きがい開発財団

理事長：辻 哲夫

設立：平成3年(1991年)

- 事業内容：1 中高年齢者の健康生きがいつくりを支援する人材(健康生きがいつくりアドバイザー、生きがい情報士)を養成するためのカリキュラムの開発および研修事業の実施
- 2 中高年齢者の健康生きがいつくりを支援する人材に関する資格認定
- 3 中高年齢者の健康生きがいつくり支援のためのシステム開発
- 4 中高年齢者の健康生きがいつくり活動に関する啓発・調査研究
- 5 関連団体との連携及び協力